

けいはんな R&D イノベーションフォーラム 2023

けいはんな学研都市先端シーズフォーラムとの合同開催

ChatGPTで未来はどのような

～けいはんな学研都市での生成AI活用の可能性～

2023年12月12日(火) 一般公開 **WEBセミナー** (開始14:00)

M けいはんな学研都市での新技術の開発とサービスの創出に、生成AIをどのように活用できるかについて詳しく教えてください。✉

急速に普及するChatGPTに代表される生成系AI(Generative AI)においては、自動文章生成、音楽生成、画像生成、自動翻訳、自動要約等の様々な場面での活用が進んでいます。さらなる活用にあたっては、データの収集や整理、膨大な計算量の処理などが必要となりますが、その特性を適切に理解し、人の得意分野と組み合わせることで、製品開発や製造プロセスの改善、顧客のニーズに合わせたマーケティング戦略の立案など、様々な分野で応用が期待されるようです。

そこで、今回のセミナーでは生成系AIの最新の動向や今後の展望等に触れ、それにより、けいはんな学研都市で目指す新技術の開発やサービスの創出に、どのように活用できるかを考えます。

14:00 開会挨拶 関西文化学術研究都市推進機構

14:10 コンソーシアム活動状況について 関西文化学術研究都市推進機構

14:30 会員企業事例紹介

・モビリティ: 株式会社アウトソーシングテクノロジー インテグレーション事業本部
プロフェッショナルサービス部 DXモビリティ課 担当課長 松山貴史 氏

「自動運転車両についての取組紹介」

・防災・避難誘導: NTTコミュニケーションズ株式会社 ビジネスソリューション本部
スマートワールドビジネス部 スマートシティ推進室主査 石間裕基 氏

「『スマートけいはんなプロジェクト』の避難誘導実証について」

15:00 特別講演 1

名古屋大学 大学院情報学研究科 知能システム学専攻

フィールド知能情報学 教授 東中竜一郎 氏

「対話システムにおける生成AIの活用」

16:10 特別講演 2

京都大学 大学院情報学研究科 情報学専攻

教授 鹿島久嗣 氏

「機械学習：経験から学ぶ人工知能とその可能性」

17:10 閉会御礼



東中竜一郎 氏



鹿島久嗣 氏



参加のお申し込みはQRコードまたはURLから
https://www.kri.or.jp/contact/rdic_forum2023.html
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室



RDMM 支援センター

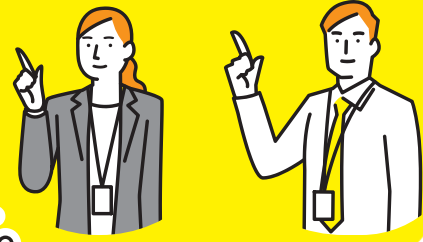
主催：公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構
共催：公益社団法人関西経済連合会
後援：国立国会図書館、関西広域連合、京都府、
大阪府、奈良県、公益財団法人国際高等研究所、
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

Clubけいはんな サポートサービス

生活者目線を研究開発に活かし

新規事業創出に欠かせない

「マーケットの本質」探索をサポートします。



Keihanna
Science City

Clubけいはんなサポートサービスは生活者目線を
新ビジネス創出に組み込むサービスです。

K-PeP

ご利用料金

- ・基本分担金 10万円 / 年
- ・設備設置・変更 (5万円～)
- ・住民周知 (5万円～)
- ・各種許認可 (5万円～)
- ・Clubけいはんな利用 (5万円～)
- ・その他

優れた道路環境と立地施設の協力

インターネットアンケート

Clubけいはんな会員の全員もしくは抽出した一部よりWeb調査で質問に答えて頂く



ワークショップ

企業とClubけいはんな会員が合同で検討テーマに対する問題や解決方法を討議しながら新産業・新事業のアイデアを創出する



実証実験

Clubけいはんな会員に社会実証実験のモニターとなって頂き、実用化に向けた意見を頂く



プロトタイプ評価

Clubけいはんな会員数名のメンバーで構成し、議論しながら企業が作成した試作品の評価を行う



2022年度活動

Web調査

ワークショップ

実証実験

・日常生活の中での健康との関わりについて / 京都スマートシティエキスポ2022 けいはんなデジタルツイン住民ワークショップ 避難誘導アプリを使ったフィールド実証(避難訓練)



お問い合わせは

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
イノベーション推進室

RDMM RDMM 支援センター

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7
けいはんなプラザラボ棟3F
Email:rdmm@kri.or.jp
URL:www.kri.or.jp/rdmm/



あなたの声を研究開発に活かそう！
Club
けいはんな



住民協力による実証・評価が可能

施設の共同利用で研究開発コスト低減

構内テストコース



共同実験室



路上設備



警察・行政の支援を得て素早い対応が可能

オープンで誰でも利用でき、自社に必要な
研究・開発を自由に行えるプラットフォーム

各社が乗りあう実証実験内容例



※各社に必要なことが自由に研究・開発ができる
乗合型プラットフォームを提供(日本初)

けいはんな公道走行実証実験プラットフォーム
(Keihanna Public road experimental Platform)

K-PeP